

賛助会員活動報告

平成19年度は、ぺんてる株式会社、日本ハム株式会社グループ、株式会社三越、株式会社松坂屋に新たに賛助会員になっていただきました。既会員の株式会社ロッテ、株式会社ヤクルト本社を含めた賛助会員の社会貢献活動への取り組みの一部をご紹介します。

174 株式会社ロッテ

175 株式会社ヤクルト本社

176 ペンてる株式会社

177 日本ハム株式会社グループ

日本ハム北部直販株式会社

日本ハム東部直販株式会社

日本ハム中部直販株式会社

日本ハム近畿直販株式会社

日本ハム西部直販株式会社

東北日本ハム株式会社

南日本ハム株式会社

社会貢献に対する基本理念

私たちは、「社会との共生」をスローガンに人と地球に優しい社会へ、さまざまな企業活動を通して応援しています。

「自然・環境保護」「健康」「文化・スポーツ」これら3つのテーマを柱に、今まで培ってきた経験、ネットワークを駆使し、プロジェクトを組み、国内はもとより海外に至るまでグローバルな視野に立った社会貢献活動を展開していきます。

社会貢献活動実施概要

(1) 自然・環境保護

いつも地球と共に呼吸し地球と共に歩みたい「NOポイ捨て」運動、コアラ基金

(2) 文化・スポーツ

子どもたちにもっと元気を、もっと笑顔を

マリーンズ野球教室、ベルマーク運動、ロッテ学級の話(壁新聞寄贈)、トヨタジュニアゴルフワールドカップ2007、ガーナ基金への支援、文化・スポーツ活動への貢献、財団法人ロッテ国際奨学財団

(3) 健康 本当の豊かさは健康なからだと心から

咀嚼と健康ファミリーフォーラム、しっかり噛んで健康家族、6月1日はガムの日、健康ガムカムダンベル運動、8020運動への支援

●2007年(1月から12月)の活動より

「NOポイ捨て」運動

主催者：日本チューインガム協会
期 間：通年

ガムを噛む効果が見直される一方、なかなかなくなるのがガムのポイ捨て。

日本チューインガム協会、地方公共団体、各地域のボランティア清掃グループとともに、マナーの重要性を一人でも多くの方に見つめ直してもらおうと「ガムのポイ捨て防止」の啓発運動および清掃活動を展開しています。



噛むことの大切さをより多くの方々に知っていただこうと、NHK文化センターと各地のNHK放送局の主催、日本歯科医師会ほかの協力により、全国規模で展開しているイベント「しっかり噛んで健康家族」に協賛しています。

健康ガムカムダンベル体操

主催者：日本咀嚼学会、NHK文化センター
期 間：年3回



いつまでも健康な体とはつつとした笑顔を。

中高年齢者の方々に健康づくりと咀嚼の重要性を伝えることを目的としたその名のとおりガムを噛む動きとダンベルを取り入れた健康体操イベントです。

1999年、日本咀嚼学会、NHKグループ会社主催、ロッテ協賛によりスタートし、毎年9月第3月曜日の敬老の日に東京巢鴨のとげぬき地蔵尊で行われる他、全国各地で実施しています。

しっかり噛んで健康家族

主催者：NHK文化センター、NHK各放送局
期 間：年間16会場



社会貢献に対する基本理念

当社は、「生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献する」ことを企業理念に掲げています。これを実践するために、当社は、本業に加えて、科学技術の促進協力、健康情報の提供、環境保全活動、地域社会活動、スポーツ・文化振興など、人はもちろん地球も健康にするためのさまざまな社会貢献活動を実施しています。

社会貢献活動実施概要

(1) 科学技術の促進協力

腸内フローラシンポジウムの開催、乳酸菌研究会の運営

(2) 健康情報の提供

健康情報誌「ヘルシスト」の発行、健康情報のビデオ貸し出し

(3) 環境保全活動

ヤクルト容器利用水浄化システムの普及

(4) 地域社会活動

ヤクルトレディによる独居老人訪問（愛の訪問活動）、工場見学の受け入れと工場祭の実施

(5) スポーツ・文化振興

東京ヤクルトスワローズ野球教室の開催、世界水泳選手権への協賛

●2007年(1月から12月)の活動より

愛の訪問活動

主催者：各地域のヤクルト販売会社
期間：通年

ヤクルトレディが商品をお届けしながら、独り暮らしのお年寄りの安否を確認したり、話し相手になるという活動を1972年から行っています。



2007年3月末現在、全国179の自治体より要請を受け、約4,300人のヤクルトレディが、約5万5,000人のお年寄りのお宅を訪問しています。

ヤクルト工場祭

主催者：各地域のヤクルト工場
期間：地域により異なる



各地の本社工場では、年1回「ヤクルト工場祭」を開催し、地域の皆さまとのふれあいや親しみを深めると共に、チャリティイベント等を通じて福祉に役立てるなど、あたたかな社会貢献を進めています。

東京ヤクルトスワローズ野球教室

主催者：ヤクルトスワローズ後援会
期間：地域により異なる



プロ野球選手との交流を通して、全国の子どもたちにスポーツの楽しさ、健康の素晴らしさを知ってもらおうと、1976年から「東京ヤクルトスワローズ野球教室」を開催しています。全国36ヵ所で、約5,000人の子どもたちが参加しています。(2006年度実績)。

社会貢献に対する基本理念

- ・ 広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を公正に開示します。
- ・ 環境問題への取り組みは人類共通の課題であり、企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、自主的、積極的に行動します。
- ・ 品質、環境、安全性や個人情報・顧客情報の保護に十分配慮して社会的に有用な製品を開発、提供し、消費者・顧客の満足と信頼を高めていきます。
- ・ 「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行います。
- ・ 公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引を行うこと。また、政治、行政との健全かつ正常な関係を保ちます。

社会貢献活動実施概要

(1) 文具を通じて文化の育成

世界児童画展への協賛

写生会への協賛・協力

(2) 環境教育プログラム

環境教育プログラムの作成

『ホッキョクグマが泣いている…』の作成

(3) 地域とともに

近隣の小・中学校で社員が授業を受け持つ「地域の先生」、吉川工場、茨城工場における「納涼祭」を行っています。

●2007年(1月から12月)の活動より

『ホッキョクグマが泣いている…』

主催者：WWF、ぺんてる(株)

期間：2月～

環境教育フォーラム「ローラさんへ手紙を書こう!コンクール」の優秀作品候補の子どもたちによる発表やコンクールの審査員によるパネルディスカッションなどを内容とする環境教育プログラム「ホッキョクグマが泣いている…」を日本科学未来館にて開催しました。



世界児童画展

主催者：財団法人 美育文化協会

期間：6～10月

子どもたちの感性と理性の調和のとれた成長を願い、造形文化への支援と、国際相互理解を目的として開催され、国内外あわせて20万点を超える応募がありました。



写生会

主催者：横浜市PTA連絡協議会

期間：4月25日



毎年全国各地で開催される写生会に協賛・協力をしており、60ヵ所以上の実績をあげました。

地域の先生

主催者：石岡小学校

期間：9月21日

小学校で行われている家庭教育学級の一環として、絵の具についての授業を行いました。



社会貢献に対する基本理念

日本ハムグループは、「食べる喜び」を基本のテーマとし、時代を画する文化を創造し、社会に貢献する事を企業理念に掲げています。「食べる喜び」とは、人々に「食」を通しておいしさの感動と健康の喜びをもたらすことで、人々の生活の原点であると考えています。私たち日本ハムグループで働くすべての従業員が、この「食べる喜び」の実現にチャレンジし続けています。また、私たちの暮らしを支えるものとして、健康な身体と心があり、豊かな地域社会があります。これらの要素も、地球環境と等しく大切にしていかなければならないものだと考えています。そのため、環境活動への取組みはもちろんのこと地域貢献・食育活動・スポーツ振興を通じた社会貢献活動を積極的に取り組んでいます。

社会貢献活動実施概要

(1) 食育活動

全国各地で出前食育教室、さまざまな料理教室、オープンファクトリー、工場見学などを実施し五感体験を通じた食育活動を推進

(2) スポーツ振興

「北海道日本ハムファイターズ」と「セレッソ大阪」の運営に参画し、スポーツ文化の振興と普及に寄与。また、数々のスポーツイベントを主催・協賛し、青少年の健康づくりを積極的にバックアップ

(3) 環境への取り組み

環境・安全に配慮した商品やサービスの開発、省エネ・省資源・環境負荷低減を実施。また、従業員全員が強い意識を持って、あらゆる事業分野の業務において環境保全を実施

(4) 地域貢献

日本ハムグループでは各工場では毎年工場祭りを開催し、地域の方々との交流活動を行っている。また、工場周辺地域の清掃活動も積極的に実施

●2007年(1月から12月)の活動より

食育活動

主催者：日本ハムグループ
期間：通年

小・中学校に対する食育教室を実施し、授業の中で朝食がいかに大切かを学び、またウインナーを手作りする事で、食品製造に関わる人々の思いに触れ、子どもたちが積極的に朝食をとる姿勢を推進しています。その他、親子で体験する野菜収穫体験や料理教室などを実施しています。



スポーツ振興

主催者：日本ハムグループ及びプロ野球「北海道日本ハムファイターズ」「リーグ「セレッソ大阪」
期間：地域により異なる

野球やサッカー教室では、技術を教えるだけではなく子どもたちやその保護者の方々にスポーツを楽しむためには食事がいかに大切かを理解していただく栄養講習会も実施しています。また、小学生の野球大会やサッカー大会をサポート。さらには、ユニセフマラソンなど市民スポーツも支援しています。



「みんなの森林」活動

主催者：日本ハムグループ
期間：通年

日本ハムグループでは、収益の一部を森林の造成や国土環境保全活動に役立てる「森林を守ろう!運動」に取り組んでいます。国有林の一部を借り受け「みんなの森林」と名付け、従業員を中心としたボランティア活動によって森林の保護・育成に努めています。



これまでの経緯

2002年3月

兵庫県龍野市「大成山」に初めて「みんなの森林」を設置し「森林を守ろう!運動」をスタート。

2003年7月

茨城県真壁郡「つくば山」に第二の「みんなの森林」を設置。

2005年2月25日

愛知県瀬戸市「瀬戸国有林(定光寺自然休養林)」に第三の「みんなの森林」を設置。